



SAP Ariba 

機能の概要

品目価格または数量の変更時に会計情報フィールドの再初期値設定を防止

SAP Ariba、Johan Holm
一般提供予定: 2018 年 10 月

CONFIDENTIAL

 Run Simple

機能の概要

新機能: 品目価格または数量の変更時に会計情報フィールドの再初期値設定を防止

実装の難易度

やや複雑

関連する地域

グローバル

お客様の課題

現在は、ユーザーが変更オーダー（購入申請の変更など）を実行して品目の価格または数量を変更すると、システム設定に基づいて会計情報の詳細が自動的に初期値に再設定されます。この処理は、ユーザーが変更を認識していなくても実行されるため、意図しない会計情報の変更が発生する可能性があります。

SAP Ariba でこの課題に対応

この機能を有効にしている場合、変更オーダー（購入申請の変更など）を行った場合に、SAP Ariba ソリューションによって会計情報詳細の初期値設定が再実行されることはありません。

有効にした場合、ユーザーが購入申請の変更アクティビティ中に購入申請で明細の価格または数量の値を編集した場合に、商品分類コードエクスポートマップエントリ (CEME) の選択が初期値に設定（勘定種別の初期値設定）されるのを防ぎます。

実現される主なメリット

この機能により、変更オーダーの処理時に会計情報の詳細が意図せずに変更されるのを防ぐことができます。

ソリューション領域

- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Buying and Invoicing

実装に関する情報

この機能は、通常の設定で「オフ」になっています。この機能を有効化するには、機能をオンにするようサービスリクエストを提出してください。

前提条件および制限事項

- 該当なし